

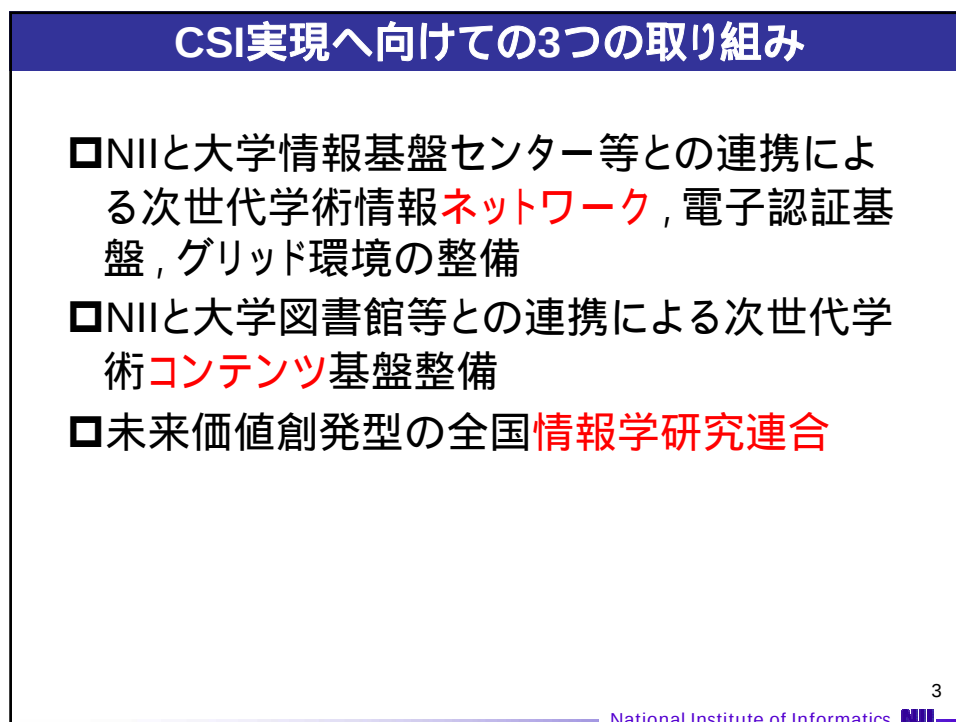
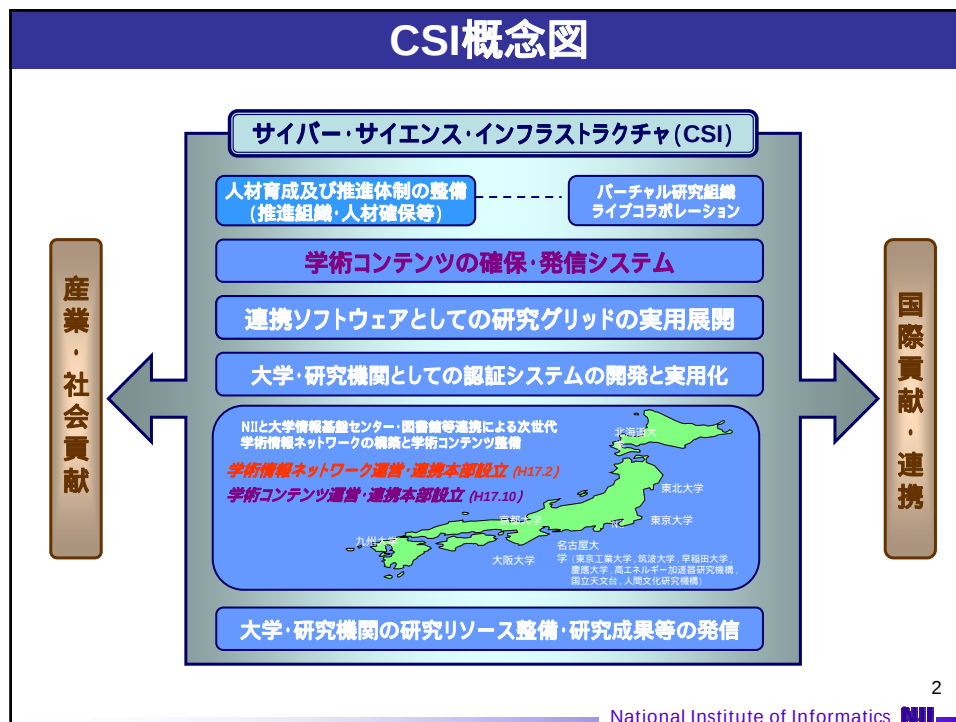
次世代学術コンテンツ基盤 共同構築事業 - 機関リポジトリ構築・連携支援 -

平成18年7月12日
国立情報学研究所 開発・事業部

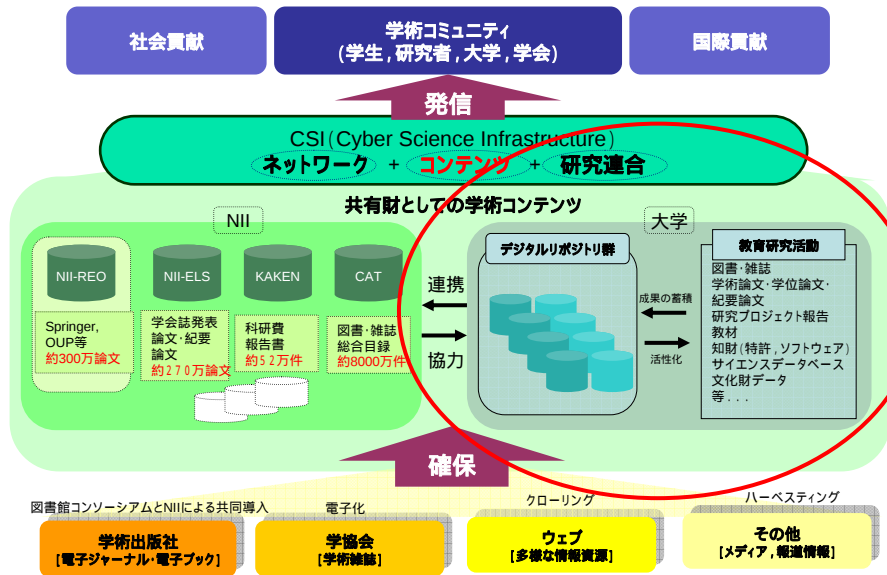
最先端学術情報基盤とは

- CSI (Cyber Science Infrastructure)
- 我が国の大学等や研究機関が有しているコンピュータ等の設備, 基盤的ソフトウェア, コンテンツ及びデータベース, 人材, 研究グループそのものを超高速ネットワークの上で共有する「最先端学術情報基盤」

(科学技術・学術審議会 学術分科会 研究環境基盤部会 学術情報基盤作業部会『学術情報基盤の今後の在り方について(報告)』(平成18年3月23日))



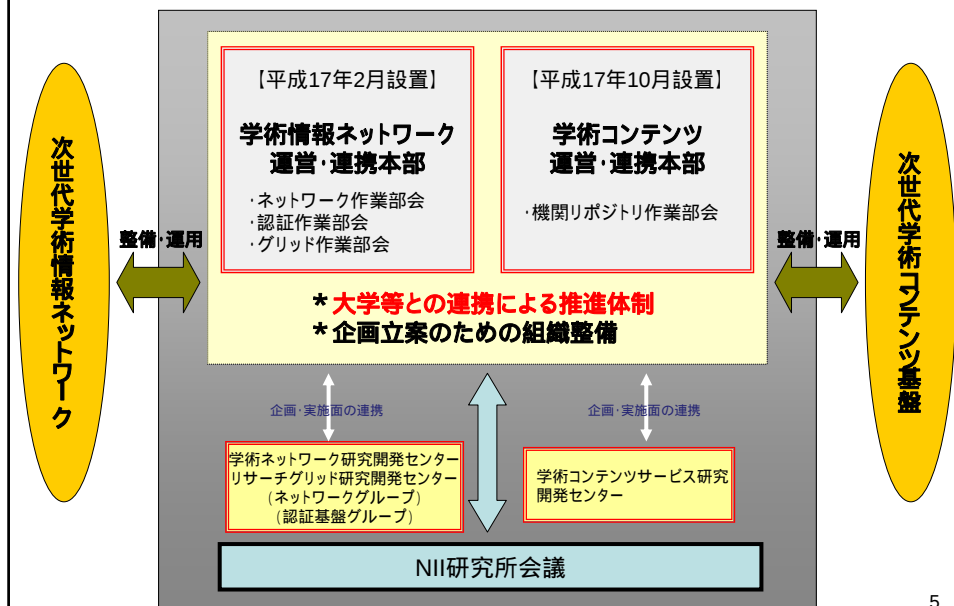
次世代学術コンテンツ基盤



4

National Institute of Informatics NII

CSI構築に向けた運営体制の整備



5

National Institute of Informatics NII

CSI構築推進委託事業の実施

大学等学術研究機関との連携及び支援を目的とする
委託事業

- 学術情報ネットワークの高度化・拡充と運用強化
- 認証基盤等のセキュリティ対応
- 連携のためのGRIDミドルウェアの運用
- **次世代学術コンテンツ基盤の整備・拡充**
 - **機関リポジトリ構築・連携支援**
- 各研究分野のネットワーク利用支援
- CSI推進のための人材育成等

6

National Institute of Informatics 

委託事業の基本的考え方

- 次世代学術コンテンツ基盤の構築推進
 - － CSIの柱の一つである次世代学術コンテンツ基盤の構築を推進するために、機関リポジトリの構築・運用に係る事業を大学に委託
- CSI事業の一環
 - － 助成事業にあらず
 - － NIIが直接実施できない部分を補うために、大学を連携機関として、事業の委託を行う
- 呼び水的な委託経費
 - － 機関リポジトリの全国展開を促進するための leverage

7

National Institute of Informatics 

17年度委託事業

□委託先の選出

- 機関リポジトリの構築・運用に関するこれまでの実績及び全学的な計画の有無等の調査に基づき19大学を選出

□委託大学(19大学)

- 北海道大学, 東北大学, 筑波大学, 千葉大学, 東京大学, 東京工業大学, 東京学芸大学, 金沢大学, 名古屋大学, 京都大学, 大阪大学, 岡山大学, 広島大学, 山口大学, 九州大学, 熊本大学, 長崎大学, 早稲田大学, 慶應義塾大学

8

National Institute of Informatics 

17年度の成果

□ホームページにおける情報公開

- <http://www.nii.ac.jp/irp/>

□委託業務成果報告書

- <http://www.nii.ac.jp/irp/info/2005.html>

□平成17年度CSI委託事業報告交流会(5月16日)

- <http://www.nii.ac.jp/irp/info/2005/debrief/index.html>

□CSI事業シンポジウム(6月9日)

9

National Institute of Informatics 

18年度委託事業

□基本コンセプト

- － 2つの目標
 - ・ 機関リポジトリの全国的な展開
 - ・ 先端的な研究開発
- － 透明性と競争性を確保した選定プロセス
 - ・ 公募の採用

□公募要項骨子

- － 約3億円の経費規模で、100大学程度の採択を目標
- － 2つの事業領域
 - ・ 領域1(機関リポジトリの構築と運用)
 - ・ 領域2(先端的な研究・開発)

□選定結果

- － 57大学を選定
- － 22の先端的な研究開発テーマの採択

10

National Institute of Informatics 

領域2の採択テーマ

分類	テーマ	主担当大学	連携大学
リンクリゾルバ対応	リンクリゾルバ対応システムの開発	北海道大学	筑波大学、千葉大学、名古屋大学、九州大学、(NII)
評価	機関リポジトリの評価システム	千葉大学	三重大学
著作権	著作権ポリシー共有機能	筑波大学	神戸大学、千葉大学
リポジトリシステムの開発	リポジトリ登録・管理システムの開発	東京大学	
	T2R2システムの開発	東京工業大学	
	OneWriting & MultiOutputシステムの開発	お茶の水女子大学	
	学内既存データベース及び認証基盤システムとの連携による登録負荷軽減システムの開発	大阪大学	
オープンソースの活用と普及	機関リポジトリコミュニティの活性化(DSpaceの普及)	北海道大学	
	XooNips Libraryモジュールの開発と普及	慶應義塾大学	
業績データベースとの連携	業績データベースとの連携	金沢大学	九州大学、早稲田大学
検索システムの開発	主題マップによるナビゲーション	北海道大学	
	学内の各種データベースのゆるやかな結合による統合検索	九州大学	(NII)
電子出版	電子出版システム(編集査読システム)の開発	早稲田大学	広島大学、長崎大学
メタデータ関連	多様なタイプの情報資源の蓄積・交換の推進	名古屋大学	
教育支援	教育成果に重点をおいたコンテンツ作成	東北大学	
	学習・教育支援のための統合的情報システム環境の開発	三重大学	
	教育系サブジェクトリポジトリとしての展開	東京学芸大学	
サブジェクトリポジトリ	平和学リポジトリの構築	広島大学	
	数学文献アーカイブの構築と公開(数理解析研究所講義録)	京都大学	東京大学[日本数学電子図書館(JDML)の構築]、(北海道大学大学院理学研究院数学部門)、SPARC/JAPAN
	研究コミュニティ創出支援	千葉大学	九州大学[拡張メタデータの保存と提供]、(NII)
その他	典拠ディレクトリシステムの構築	名古屋大学	(NII)
	国際的協力(国際シンポジウムの企画)	千葉大学	(NII)

11

National Institute of Informatics 

経費配分の基本方針

- 採択57大学の要望額は総額約6.5億 → 平均充足率は45%
- 領域1, 2ともに評価委員による評点及びコメントを考慮
- 領域1, 2を合わせた額を通知

12

National Institute of Informatics 

領域2(共同プロジェクト型)の進め方

- 主担当大学を中心として, プロジェクト内の経費の配当等も含めて調整をお願い
- その結果を個別大学の業務計画書に反映(役割分担, 所要経費)

13

National Institute of Informatics 

今後の進め方

日程	イベント
18年8月(予定)	システム説明会
18年10月～11月(予定)	地域ワークショップ
18年12月18日～19日	デジタル・リポジトリ国際シンポジウム(都市センターホテル)
19年2月	中間評価
19年4月～	19年度委託事業
19年5月中旬(予定)	18年度報告会

14

National Institute of Informatics 

大学の役割

□ 機関リポジトリの設置と運用

- － システム立ち上げ
- － オープンソースの活用

□ コンテンツ形成

- － 研究成果(学術論文, プレプリント, 学会発表論文, テクニカル・ペーパー, 調査報告書, 学位論文等), データベース, 電子教材, シラバス, 実験データ, 電子図書館のレガシーコンテンツ...
- － コンテンツ本体の確保とオープンアクセス
- － メタデータの流通促進

□ 先端的な研究開発(領域2)

□ 経験・知見・技術の公開

15

National Institute of Informatics 

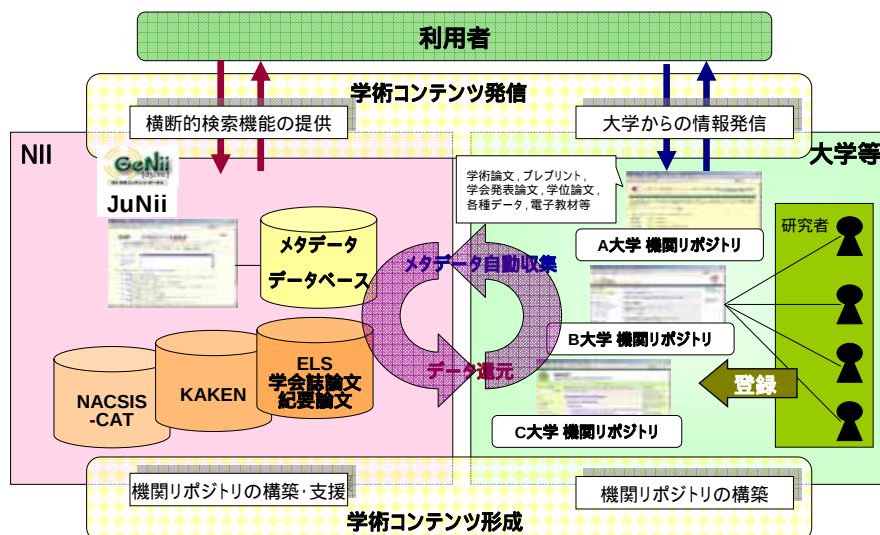
NIIの役割

- コミュニティの形成
 - 意見交換, 情報共有のための場の提供 (ホームページ, メーリングリストの開設等)
 - 各種会合の開催
- システム構築支援
 - 機関リポジトリ構築・運用の手引きの作成
 - ソフトウェア情報の提供
 - サポートデスクの設置
- コンテンツ構築支援 (NII保有データの還元)
 - 研究紀要, 科研費データ及び学位論文, ELS (学会誌論文, 当面, 書誌データを提供)
- 運用支援
 - 運用の手引きの作成
 - 広報宣伝活動の支援
 - 国内学会著作権ポリシーの共有化
- 連携のためのシステム環境整備
 - メタデータ標準・規則の再整備
 - JuNii+によるFederated Search
- その他
 - 機関リポジトリ担当者向け研修 (学術ポータル研修)

16

National Institute of Informatics NII

おわりに



17

National Institute of Informatics NII